レッスン：29“M”

テーマ：四面ピラミッド

MAC29. DOC/MEN/PYRN4.KE4

私の兄弟・姉妹たち、

スピリット・光・火の子供たちよ。私たちは主、絶対、神の聖性に常に抱かれています。

前回のレッスンでは生命の木に関して私たちが見い出したいくつかのシンボルについて、さらにまだ見い出していないことがらについて述べました。

私たちが深く見ていこうとする生命の木のシンボルの一つはいわゆる四面ピラミッドで、それは生命の木の一番下のセンター（A10）にあります。このピラミッドは現在のパーソナリティーの墓であり、全ての人間は無知のなかにある間はこのピラミッドのなかに閉じ込められています。

このピラミッドは多くの人々が信じているような肉体を埋葬する墓ではなく、無知の状態にある全ての人間の墓なのです。このことは私たちの小さな地球にだけ当てはまるのではなく、あらゆる宇宙における人間についても当てはまります。

ピラミッドの各面はエレメントを意味していると述べました。実際には、三つの面だけがエレメントを現しており、四番目の面は現在のパーソナリティー、およびアークエンジェルのウリエルに属しています。ウリエルというアークエンジェルのオーダーは、他の三つの働きを調整しています。さらには、ピラミッドの底は地のマスターであるサミュエルに属し、サミュエルはルシファーのエレメンタルであると述べました。この理由ゆえに、私たち真理の探究者は決して地、あるいは地面にフォーカスすべきではないのです。

右側の三角形はミカエルに属し、左の三角形はラファエルに、そして後ろの三角形はガブリエルに属します。ミカエルに属する三角形は赤い色で、ラファエルに属す三角形はウルトラ・バイオレット（超紫）、そしてガブリエルに属する三角形の色はホワイト・ブルー（薄水色）です。

現在のパーソナリティーに属する三角形の色は白です。それゆえ、赤い色、ウルトラ・バイオレット色、ホワイトブルー色、そして白があり、それがピラミッド、四面ピラミッドなのです。それらは無知に取り込まれる状態を現在のパーソナリティーに提供します。ピラミッドそれ自体が無知に取り込まれる原因というわけではなく、むしろ現在のパーソナリティーにそのような可能性を与えているのです。現在のパーソナリティーが無知に取り込まれている理由は私たちの気づきのレベルのゆえであり、現在のパーソナリティーが問うべき次のステップとは、四面ピラミッドの限界から自由になるには“何を”(what)すべきか、というものです。

現在のパーソナリティーが気づきの上昇に向けてワークすべきは“いかにして”(how)であり、それ以外の何ものでもありません。以前のレッスンでも述べたように、それが唯一の方法です。そうです、確かに昔は、パワーと能力を現すためにワーク（努力）することが進歩する道だと人間は考えました。しかし、それはテクニカルな手段を通じてのみ達成され、私たちが知っているようにそれはそれ自体が高レベルのサイコノエティカルな上昇を示しません。

人は唯一気づきの結果としてのみパワーと能力を表現すべきです。なぜなら、それによってのみ、パワーと能力が同胞の人間の利益のために使用されるからです。しかし、気づきの上昇を“いかにして”進むべきでしょうか？多くの方法があります。しかし、

どんな試みを行おうともその前に、最初にやるべきことは五芒星の位置を置き直して、それが下向きではなく上向きにすることです。上向きが正しい位置です。私たちは五感ではなく五つの超感覚を少なくとも部分的に、意識的に表現できるようワークすべきです。

Page2

私たちがこのピラミッドの中にいる間は一生懸命に努力しなければならない、ということを認識する必要があります。さもないと、そこから出られないからです。

ピラミッドのなかにいる間は、意識およびセルフ・エピグノシスの全てのセンターについてワークをする必要があります。あなたに与えられるこれらのレッスン、特にエクササイズは、誰のためでもなく、まさにあなた自身の成長のために与えられるのです。

気づきの上昇のためにワークしているこの段階における私たちの目的は、“新しい”ファラオになることです。ファラオではなくて、なぜ“新しい”ファラオなのでしょう？なぜなら、過去の全てのファラオは気づきの上昇の結果ではなくテクニカルな手段の結果としてピラミッドの頂上に立っていたからです。しかしながら、真理の探究者は気づきの上昇を通じてピラミッドの上に到達し、そこに立つ必要があります。

諸宇宙における人間の下降と上昇の始まりは、神の黙想内におけるセルフ・モナドの動き以外の何物でもありません。私たちは自分たちに起きていることは何であれ何かとても素晴らしいことだ、長い年月私たちは多くのこと、多くの状況その他を経てきていると考えがちです。実際には、全ては一瞬のなかにあるのです。非常に多くの転生がありますが、しかしそれら全ては一瞬のなかにあるのです。

勿論、現在のパーソナリティーがひとたび意味の世界をマスターするなら、そのことを認識するようになります。肉体、サイキカル体、そしてノエティカル体をマスターすれば、全ては永遠の今において全てのなかにあることを認識するのです。

実際には意味は存在せず、無知の中にある人間が意味を創造するのです。

大部分のピラミッドは頂上が平らになっており、それを完全なものとするためには“人間”が頂上に立つことによって、ピラミッドに頂上を与える必要があるのです。徐々に私たちはこの人間の墓について多くを学んでいきます。人間が無知な状態にある間は、それは墓なのです。

人間が無知という束縛から解放される時、この墓は自己実現、キリスト意識のシンボルとなります。“新しいファラオ”としての人間のシンボルとなるのです。

さて、私たちがピラミッドのなかにいる間、各サイドを注意深く見ていきましょう。ミカエルに属する右側から始めます。それから、私たちの背後にある、ガブリエルに属するサイドを調べ、次にはラファエルに属する左側を見ていきます。次は、私たちの前面にあるサイド、それは現在のパーソナリティーおよびウリエルに属しますが、それを見ていきます。このサイドにフォーカスすることにより、実際、自分自身およびガブリエルに属するピラミッドのサイドに向かっている自分のイメージを見ることになります。ウリエルの助けにより、さらに自分自身の個人的努力により、自分自身のイメージが対面している方向に直面しようとしているのです。私たちがひとたびこれを達成すれば、ガブリエルの監督下にあり、さらには私たちを自己実現およびキリスト意識の現れへと導くドアーを通過することができるようになります。

これを達成するには、これまで与えられた他の全てのエクササイズと関連するピラミッドでの特定のエクササイズをします。エクササイズを通じて四つのエレメントをマスターすることが可能となり、エーテルの特質のマスターとなることができるのです。

ピラミッドの頂上に立つ唯一の方法とは、六芒星を使うことです。気づきの意識の上昇の結果として

ピラミッドの頂上に立つということは、現在のパーソナリティーの諸体をマスターし、四つのエレメントをマスターして、インナーセルフの特質を完全に現すことができることを意味します。

反対側を向いていながら、いかにして真理の探究者は中央の道へのドアーを通過するためにワークしていくのでしょうか？鏡を通じて、いかにして反対向きになることが始まるのでしょうか？それはあなたの前にある鏡を見ることによって、あなたのイメージを見ることによってなされます。徐々に、あなた自身のパーソナリティー全体の完全かつ同一の反映であるイメージを見つめて立つ代わりに；セルフは反対側を向いて、中央の道の方向に向くようになります。

この地点から、現在のパーソナリティーはその本質としての特質を現し始めるようになります。これを達成するための唯一の方法とは、ピラミッドの中にいる間に行う必要のあるこの特定のワークなのです。ピラミッドのなかに立つ目的は、インナーセルフの特質を表現することです。しかし、それらの特質は現在のパーソナリティーに何を提供するのでしょうか？それらの特質は全人類に向けて愛/アガピの表現を提供します。

Page3

勿論、私たちが四つのエレメントをマスターし、全てのエーテル…運動エーテル・感覚エーテル・刻印エーテル（創造エーテルは他の三つのエーテルをマスターする結果として加えられるようになる）…をマスターするまではピラミッドの外に出ることはできません。

その時初めて、そのパーソナリティーはピラミッドの外に出ることができるのです。

そうです、私たちはエゴの様々な局面を殺すことのできるパワーによって、半神、ヘラクレスになる必要があるのです。

ひとたび、現在のパーソナリティーをマスターするレベルに到達すれば、あなたはもはや意味からの影響を受けなくなります。あなたは時間・空間の意味を超えてしまうのです。そうなった時、そのパーソナリティーの主な目的は同胞の人間の助けとなることです。その地点からは、そのパーソナリティーにとって時間・空間はもはや重要ではなくなります。

実存の諸世界における全ての意味は無知の結果であることを覚えておく必要があります。

実際には意味は存在せず、意味を作り出すのは無知のなかにいる人間なのです。ピラミッドの頂上に立つレベルに到達するとき、その人はもはや気づきのレベルを現しません。気づきとは思考・行動の仕方の結果であり、現在のパーソナリティーのマスターとなったその地点からは、諸体の現れは完全なる成長を遂げ、人間の元型(Archetype of Man)の諸体と呼ばれるそれらの体…それらはイデア、フォームとしての美しい人間の諸体であり、いかなる限界もない…と完全に同一になるのです。

パーソナリティーはそれら様々なエゴの段階を昇り、それら全てを殺す必要がありますが、それはA10～B7の間の線です。同時に、アークエンジェル的意識、アークエンジェル的ヒポスタシス（＊アークエンジェル的状態）を表現するためにA10～C8を昇る必要があります。パーソナリティーが意識的に昇り始めると、A9の五芒星に変化をもたらし始め、その結果ポイントが上向きとなり、五つの超感覚も表現され始めます。

ピラミッドの遺跡は、発見されているか否かにかかわらず地球上のあちこちに散らばっています。ピラミッドの目的は一見すると肉体を埋葬するためであるように見え、物質界で生きていた時と全く同じように別の世界でも生を続行できるように、そのパーソナリティーが好んでいた様々な物で囲まれています。しかし、実際にはそうではありません。ピラミッドは私たちがこの世界、物質界にいる間も、そしてサイコノエティカル界（そこでも私たちは再び現在のパーソナリティーとして生き続ける）にいる間の、現在のパーソナリティーの墓なのです。死者の間に留まることのないように、私たちは現在のパーソナリティーを解放するために努力すべきです。“死者に自分自身の死者を埋葬させよ”。事実を言えば、無知にある全ての人間は死んでいるのです。実際には、これが死の本当の意味なのです。

それでは、物質としてのピラミッドには何らかの点で意味があるのか、あるいはそれは単なる象徴にすぎないのでしょうか？そうです、ピラミッドには果たすべき目的があったのです。追想してみると、ピラミッドの背後の本当の目的は前にも述べたように、それらを建造した人々には知られていませんでした。確かに、彼らはピラミッドが与えることのできるパワーについては知っていたのですが、そのようなやり方ではサイコノエティカルな上昇を与えることはできない、ということを知らなかったのです。今や人間は自分の帰還を計画する上で（＊過去の時代よりも）優れた道具を携えています。なぜなら、

帰還のための安全かつ確かな唯一の方法とは気づきの上昇であることを認識しているからです。このレベルの気づきによって、人類は同胞の人間たちが互いに同じであることを認識できるようになるのでしょうか？そのとおりです。そのとき人間は啓発に向かって飛躍し始めるようになり、ピラミッドの頂上に到達するためにより速く、より速く梯子を昇るようになることでしょう。

私たちは常に主、絶対、神の聖なる質に抱かれています。

EREVNA 29M/DOC/ME/PYRN4.KE4